

4 中・高	美術
----------	----

全てマーク式解答用紙に答えなさい。

(11枚のうち No. 5)

(3) 下線部aの「フロッタージュやデカルコマニー」の記述として最も適当なものを、下の①～⑥からそれぞれ一つずつ選びなさい。

【フロッタージュ】

【デカルコマニー】

- ① 凹凸のあるものに紙を当て、鉛筆や色鉛筆などでこすると模様が浮かび上がる。
- ② クレヨンで絵を描き、その上から水彩絵の具を塗るとクレヨンが水をはじくので描いた絵が浮かび上がる。
- ③ 絵の具をつけたブラシを網につけてこすると、細やかなぼかしの表現ができる。
- ④ 紙と紙の間に絵の具を挟み、ばれんなどで強くこすってから開くと左右対称の形があらわれる。
- ⑤ 二つ折りにした紙の間に絵の具をつけた糸を挟み、紙を押さえながら糸を引くと模様があらわれる。
- ⑥ 多めの水で溶いた絵の具を筆につけ、紙の上で振ると、飛び散ったような模様ができる。

問3 次の(1)～(4)の各文は絵画等の表現技法等について説明したものである。各文が説明する語句として最も適当なものを、それぞれ下の①～④から一つずつ選びなさい。

(1) 銅版の全面に無数の傷を付けた後、絵柄の部分を磨いて版をつくる技法。

- ① アクアチント ② メゾチント ③ エッチング ④ ドライポイント

(2) 性質が反対の形や色彩を組み合わせることで強い感じの効果を出す構成。

- ① シンメトリー ② アクセント ③ ムーブメント ④ コントラスト

(3) 下地の絵の具や墨が乾かないうちに描き足すことで、色が混ざり合う日本画の技法。

- ① 付け立て ② たらしこみ ③ 積墨法 ④ 没骨法

(4) 絵の具が半乾きのうちに周囲に水を引くと、水が絵の具に浸透し独特の模様が生まれる技法。

- ① ウォッシュ ② ウエットインウエット ③ バックラン ④ スクラッチ

4	美術
中・高	

全てマーク式解答用紙に答えなさい。

(11枚のうち No.10)

5 工芸について、次の問いに答えなさい。

問1 紙の種類と特徴に関する次の文章を読み、空欄 ア ～ オ に入る語句として最も適当なものを、下の①～⑧からそれぞれ一つずつ選びなさい。

紙は私たちが生活の中で最も慣れ親しんでいる材料の一つである。1枚の平らな紙を折ったり、切れ込みを入れたり、丸めたりすると平面だけでなく、立体的な表現ができる。紙は大きく「和紙」と「洋紙」に分けられる。

和紙は日本で発展してきた紙で、手すき和紙と機械すき和紙に分類される。繊維が長い和紙は強度に優れている。原料は、ガンピ、ア、イ という3種類の木の皮の繊維が多く使用される。伝統的な手すき和紙の技術としてユネスコの無形文化遺産に登録されている岐阜県のウ、埼玉県のエ、島根県のオ は、原料としてアのみを用いている。

洋紙はもともと西洋で発展した紙で、機械でつくられ、パルプを原料にしている。現在私たちの身の回りにある紙の多くは洋紙である。

- | | | | |
|-------|----------|--------|--------|
| ① カツラ | ② ミツマタ | ③ 石州半紙 | ④ 因州和紙 |
| ⑤ コウゾ | ⑥ トロロアオイ | ⑦ 細川紙 | ⑧ 本美濃紙 |

問2 中学校学習指導要領（平成29年告示）の第2学年及び第3学年におけるA表現（1）イの指導すべき事項として正しいものを、次の①～⑥から全て選びなさい。 カ ※全て カ にマークすること。

- ① 使う目的や条件などを基に、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。
- ② 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。
- ③ 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しを持って表すこと。
- ④ 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。
- ⑤ 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表すこと。
- ⑥ 構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。